

(3) 総合科目Ⅱ

総合科目Ⅱ 科目群A 100番台

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1A09021	生物に学ぶ-多様な生き物の生存戦略-I	1	1.0	1・2	春AB	月1	2H201	古久保-徳永 克男	35億年前に誕生した生命は多種多様な形態と機能を獲得しながら進化してきた。本講義では、様々な生き物のありかたについて、それぞれ独自の生物材料を用いて研究を進めている研究者による講義をオムニバス形式で展開する。とりわけ、動物や植物の体の構造と機能に関して、発生生物学や生理学等の視点から最近の知見を紹介する。	(生物開設) 平成20年度までの「生物に学ぶ-多様な生き物の生存戦略-I」の単位を修得した学生の履修は認めない。 【受入上限数300名】
1A10021	森林	1	1.0	1・2	春AB	月1	3A402	津村 義彦	森林国日本。私たちはどれだけ森林のことを知っているのだろうか?世界の森林はいまどのような状況になっているのだろうか?人々は森林とどのようにつきあっているのだろうか?森林で何が研究されているのだろうか?世界の、そして日本の森林について多方面から解説する。	(資源開設) 【受入上限数200名】
1A10041	草原	1	1.0	1・2	秋AB	月1	3A402	田村 憲司	草原はいまどのような状況になっているのだろうか。人々は草原とどのようにつきあっているのだろうか。草原で何が研究されているのだろうか。世界のまた日本の草原について多方面から解説する。	(資源開設) 【受入上限数200名】
1A11031	ジオパークの世界	1	1.0	1・2	春AB	月2	1D204	久田 健一郎, 丸岡 照幸, 荒川 洋二, 山中 勤, 池田 敦, 呉羽 正昭, 黒澤 正紀, 上松 佐知子	構成要素が地球科学的造形物であるジオパークや世界自然遺産が近年注目されている。これらのジオパークや世界自然遺産は、地球科学的現象のうち、自然災害などのマイナス面ではなく、自然に触れて自然を楽しむプラス面の表れである。本科目ではジオパークの理念からその親しみ方までを地球科学的に解説する。	(地球開設) 地球学類生および「地球進化学A・B・1・2」「地球環境学A・B・1・2」「自然環境論」履修者の受講は認めない。 【受入上限数 150 名】
1A12011	数学との出会い	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A202	カーナハン ス コット ファイレ イ	日常生活において数学がはたしている役割に光を当てる。特に、日々のありふれた事柄の背後にある数学的な考え方に光をあてて解説する。	(数学開設) 【受入上限数120名】
1A14031	放射線の基礎と最先端	1	1.0	1・2	秋AB	月1	3A202	末木 啓介	原子の世界から宇宙まで、生命から医学まで、放射線を用いた学問に触れる。 「放射性同位元素・放射線は何か?」について、その基礎を学ぶ。さらに各分野の第一線の研究者により、放射線をもちいた基礎科学と先端応用について、化学、物理、工学、生物、医学の広い分野にわたってわかりやすく解説する。	(化学開設) 【受入上限数120名】
1A15111	新しい技術で地球を救うI・創エネルギー	1	1.0	1・2	春AB	月1	3A308	柳原 英人	再生可能エネルギーの電気エネルギーへの変換や省エネ社会の実現のため、グリーンエレクトロニクスに関心が集まっている。電気は生活に欠かせないエネルギー源であり、再生可能エネルギーは、今後、益々重要になると考えられる。講義では、発電所から一般家庭への電力輸送の現状、太陽光や風力等の再生可能エネルギーの電力変換の動作原理から、現状と今後の展望など、燃料電池等を含めて、21世紀の創エネルギーについて全体像を俯瞰する。	(応理開設) 応用理工学類学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
1A15121	身の回りの科学・技術I:光・電磁波技術	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A207	関口 隆史	高校で高度な数学や物理・化学を学んでこなかった学生でも、現代社会において社会人として十分なキャリアを積み、また生活者として豊かな人生を送るためには、科学・技術に関する体系的な知識・理解が求められる。この授業では、光を含む電磁波の身近な応用について、その原理から体系的に説明する。	(応理開設) 応用理工学類学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
1A16071	生活に潤いを与える工学システム	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A308	田中 文英	工学におけるさまざまな技術を総合した工学システムの開発は歴史的にも人々に楽しみを与えてきた。人に楽しみを与える機械やコンピュータについて、今起きているエンタテインメントやバーチャルリアリティ技術の流れを説明し、人々に楽しみと潤いを与えることを目的とした新しい技術を考察する。	(エシス開設) G科目 実務経験教員 【受入上限数120名】
1A16081	巨大地震による複合災害-発生メカニズム・被害・都市や地域の復興	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A203	庄司 学	本講では、2011年に発生した東日本大震災のような巨大地震による複合災害に係わる様々な側面を俯瞰的に解説する。1)巨大地震と津波の特性、2)それらを踏まえた強震動、津波の伝播・浸水、斜面崩壊、液状化の発生メカニズム、3)建築物やライフライン等の社会的基盤施設の被害の特徴と、耐震補強、免震、制震等の工学的な防災対策、4)塩害や放射性物質による汚染等の長期災害と環境問題、5)リスクを回避して起こす人間行動や社会的影響、6)都市や地域の計画と復興、の合計6つの観点から具体的な事例をわかりやすく解説する。	(エシス開設) G科目 【受入上限数120名】
1A18011	ネットワーク社会を支える情報技術入門I	1	1.0	1・2	春AB	月1	3A301	伊藤 誠	インターネットやモバイルネットワークは、現代社会に不可欠なインフラとなっている。本講義では、このようなネットワーク社会を支える情報技術について多様な視点から概観し、今後の情報化社会を展望する。Iでは、プロセッサの働き、知識や感性の情報処理、符号化・復号化技術、高性能計算技術、情報セキュリティ基礎技術について講義する。	(情報開設) 【受入上限数120名】
1A19061	コンテンツを創る、伝える、そして使う	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	3A204	森嶋 厚行	現代の私たちの生活は、インターネットをはじめとする様々なメディアを介して提供される様々な「コンテンツ」に支えられている。本講義では、コンテンツを「創る」「伝える」「使う」という異なる視点から見ることににより、私たちが普段使うコンテンツに関し、それを制作する過程ではどのようなことが行われるのか、ネット上でのコンテンツへのアクセスや流通を支えるメタデータとは、人の知とコンピュータの力を組み合わせることができる新しい情報環境とは、人はどのようにコンテンツを認知するのかについて総合的に学ぶ。	(創成開設)創成学類学生の受講は認めない G科目 【受入上限数120名】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1A21171	科学的根拠にもとづいた最新の健康教育	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	3A202	佐藤 豊実	健康で有意義な学生生活を送るうえで役立つ、科学的根拠に基づいた正しい健康教育を行う。学生時代に遭遇する危険性が高いcommon diseaseの正しい知識とその予防、救急処置に役立つ知識や社会的関心の高い疾患を専門家が概説し、自ら積極的に生涯健康増進に取り組む姿勢や習慣を身に付けさせる。	(医学開設)医学類学生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
1A26011	安全衛生と化学物質	1	1.0	1・2	春AB	月1	1H101	佐藤 智生	人類は多くの有用な化学製品を作ってきたが、危険で有害な化学物質でも使う必要があった。現在では化学物質の安全な取り扱い方が実践されている。この講義では化学物質の危険性と有害性を理解してもらい、仕事や日常生活で接する化学物質を安全に取扱う方法を学ぶ。将来化学物質に関わる場合に適切に行動できる人材の育成を目指す。	(環境安全管理室企画) 実務経験教員 【受入上限数300名】
1A26021	現代人のための科学I	1	1.0	1・2	春AB	月2	1E102	吉川 耕司, 梅村 雅之, 久野 成夫	「現代人のための科学I~III」は自然科学の素養を身につけ、将来とも自分自身で学び続けて行くための基盤を作る。現代人にとって必須の項目に的を絞って物理学、地球科学、化学、生物学等の異なる分野からの視点で問題をとらえなおす。Iでは、科学の基礎法則である物理法則、特に現在人類が直面している世界規模の問題を理解する上で欠かすことのできない「エネルギー」と「エントロピー」について学ぶ。また後半では、原子分子のミクロ世界から銀河・宇宙に至る構造とその進化について考える。グループ討論によって理解を深める。なお、学期完結ではあるが、現代科学全般を概観するためには現代人のための科学II, IIIを、また物理学の基本的分野全般を概観するためには初めて学ぶ物理学I, IIを併せて履修することが必要である。	(教養教育機構企画) 定員超過の場合、文系の学生を優先する。 【受入上限数100名】
1A26041	現代人のための科学II	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1E102	守橋 健二	「現代人のための科学II」では、「同I」からの流れを受け継ぎ、まず前半では、太陽系の惑星としての地球について、その過去からの現在までの変遷と、現在の地球システムを支えている地圏、大気圏、そして水圏の循環について学んでいく。後半では、そのような地球上で生じている様々な現象をミクロな視点からとらえ、オゾン層の破壊、地球温暖化、エネルギー問題など我々を取巻く科学的問題を解説する。	(教養教育機構企画) 定員超過の場合、文系の学生を優先する。 【受入上限数120名】
1A26081	現代人のための科学III	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	2C404	澤村 京一	「現代人のための科学I, II」に引き続き、IIIでは「生命とは何か」を理解するために、前半では生命現象の普遍性について学ぶとともに、後半では多様性の実体とその背景となる理論について学ぶ。毎回討論を行うこともある。	(教養教育機構企画) 生命環境学群生の履修は認めない。定員超過の場合、文系の学生を優先する。 【受入上限数120名】
1A26511	日本の科学技術	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A209	松石 清人	日本の科学技術について、理工学分野のいくつかの先進的なトピックスを中心に解説する。	(応理開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。【受入上限数30名】

総合科目II 科目群B 100番台

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1B01051	民族の世界II—民族の世界史2—	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1C210	中西 僚太郎	本科目では、世界史上の様々な時代と地域における民族(nation)・民族集団(ethnic group)をめぐる諸相を学ぶことで、民族・民族集団とは何か、また人類は民族、民族集団をめぐり、どのような問題に直面してきたのかについて理解を深める。民族の世界史2では、主に東アジアの民族・民族集団について考察する。	(人文開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数120名】
1B01061	言語の万華鏡II	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1C210	佐々木 勲人	世界規模で画一化が進む現代において言語文化の多様性を意識する意味はかつてないほど大きい。さまざまな言語文化を歴史的・社会的な視点から考察することにより、異文化を尊重し、相違を認め合う視点を涵養する。	(人文開設) 【受入上限数120名】
1B02201	古典に学ぼう—日本・中国編—	1	1.0	1・2	春AB	月2	1C310	小松 建男	日本と中国においては文学、思想、歴史などのさまざまな分野で、数多くの典籍がうみだされ、人類に普遍的な「古典」の地位を獲得してきた。現在「古典」として広く認識されている典籍を味読・分析しながら、文化の問題に迫る。併せて、広く一般的教養を身につけることを目指す。	(比文開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数120名】
1B02321	宗教から見る現代世界	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2B412	木村 武史	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分には捉えきることができない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。	(比文開設) 【受講制限数120名】
1B03011	日本とは何かI	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1D204	沼田 善子	グローバリゼーションの中で改めて、必要性が強く認識されつつある多文化共生社会創出への取り組みに対して、日本からどのような発信ができるかという問題意識を基に、日本を日本語、日本語教育の側面から考える。	(日語開設) 日本語・日本文学類生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
1B03511	日本の生活文化	1	1.0	1・2	春AB	火2	2G407	朴 宣美	ジェンダーやマイノリティの視点から、日本の社会と文化を考察・討論する。	(日語開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成27年度以前に(7200151)の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受入上限数20名】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1B03523	日本の地域社会見学実習	3	1.0	1・2	秋AB	集中	2G305	加藤 晴美	東京都の公設卸売市場であった東京築地市場に隣接して形成されてきた問屋街(場外市場)やその周辺地域を訪れる。築地では、場外市場や築地本願寺などの見学を通して、地域の成り立ちや日本の食文化について学ぶ。そのほか、江戸時代に開発された漁師町である佃島の景観などを見学する。なお、見学コース変更の可能性もあるので留意すること。	(日日開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。目的地・日程・費用等はCEGLOCと日学類に揭示。人数制限あり。 【受入上限数30名】
1B04121	市場と社会	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1H201	平山 朝治	社会を構成する個人の意思決定の集合が「市場」という場を経由してどのように一つのコミュニティの経済を成り立たせているのかを検討する。社会の在り方を経済という視点を通して観察する意義と楽しさを学ぶ。	(社会開設) 【受入上限数120名】
1B05061	国際学を学ぶI	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A304	大友 貴史	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際総合学類開設)【受入上限数120名】
1B06011	学校を考えるI	1	1.0	1・2	春AB	月1	2C404	唐木 清志, 磯田 正美, 宮澤 優弥	学校の生い立ち、社会とのかかわり、学校を支える仕組みなどに視点を当てて、今日学校が抱える諸問題を整理し、そのいくつかについて検討する。	(教育開設)人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を80名とする。 【受入上限数80名】
1B17031	経営の科学I	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A204	生福 史彦, 有馬 澄佳, 近藤 文代	企業が製品やサービスを最終消費者に提供するためにやっている活動を説明するための概念と枠組みを理解し、実際の企業活動の妥当性を評価できるようになることを目指します。	(社工開設) 【受入上限数120名】
1B17041	経済学入門II	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A301	ターンブル ステイヴエン	現代社会では携帯電話から進化した「スマートフォン」という万能の携帯端末を持って各種ソーシャルネットワーク(SNS)に参加することが普通になった。SNSは人間関係にどんな影響を与えるか?情報ネットワークはどんな仕組みであるか?ソーシャルネットワークと交通ネットワークと通信ネットワークなど各種ネットワークの共通点と特徴を明らかにし、社会での役割と効果を考察する。	(社工開設) 【受入上限数120名】
1B20011	知的財産のしくみ(著作編)	1	1.0	1・2	春AB	月1	ユニオン講義室	村井 麻衣子, 三波 千穂美, 芳鐘 冬樹	ニュートンが「私は巨人の肩に乗って仕事をした」と言ったように、大発見や科学の進歩は、それまでに蓄積された膨大な知識の上に築かれる。新しい科学的知識は、まず学術雑誌等に論文として発表される。この意味で、学術論文は科学の発展を支える知的財産であり、研究者は価値のある論文を人よりも早く出すことにしのぎを削る。本科目では、研究者が論文を発表し、それが利用され、社会に認定・評価される仕組みについて学ぶ。	(知識開設) 【受入上限数150名】
1B21201	こころの構造と病理	1	1.0	1・2	春AB	月2	2H201	斎藤 環	心の病から精神の構造を解き明かす精神病理学と精神分析、および天才の創造の秘密を探る病跡学に関する講義。	(医学開設) 【受入上限数350名】
1B24051	スポーツ技術を人文社会科学から考える	1	1.0	1・2	秋AB	月1	5C216	真田 久	スポーツの技術について、技術とは何か、ドーピングと倫理、スポーツとルール、スポーツの文化史、スポーツの学び方・教える方、スポーツと心理、日本人の技術観など、人文社会学的側面からアプローチする。	(体育開設) 【受入上限数120名】
1B24071	オリンピック	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C416	嵯峨 寿, 真田 久	1896年に始まった近代オリンピックは、2020年東京大会で32回を数える。近代オリンピックの歴史において語り継がれるに値する素晴らしい大会にしたいとの思いは多くの日本人に共通する願望だろうが、その実現のために私たちにできることは、まず、オリンピックについてその本質を理解すること。そうすれば東京オリンピックの問題点が把握できるであろうし、改革のアイデアを構想できるかもしれない。	(体育開設) 【受入上限数150名】
1B25031	デザインと社会	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C317	五十嵐 浩也	デザインに何が出来るのか?社会との関わりについてデザインの可能性を探る。プロダクト、情報デザインの視点から授業を行う。	(芸術開設)芸術専門学群学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
1B25511	日本の芸術とその鑑賞	1	1.0	1・2	春A	火5,6	5C411	上北 恭史	日本の歴史的な生活様式、宗教、都市にかかわる芸術を通して、日本の芸術の特色を解説する。	(芸術開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。【受入上限数20名】
1B26101	ダイバーシティスタディーズ入門	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A207	河野 禎之, 五十嵐 浩也	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じるようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター企画) 【受入上限数80名】
1B26511	日本の歴史	1	1.0	1・2	春AB	月2	2G205	山澤 学	日本の歴史について、各時代の重要なトピックを取り上げ、学修する。	(比文開設)履修は、留学生および外国滞在期間5年以上の帰国生徒に限る。平成27年度以前に(7200111)の単位を既に取得している学生は履修不可。 【受講制限数40名】
1B26513	日本の産業・都市見学実習	3	1.0	1・2	通年	集中			詳細が決定次第、各掲示板にて掲示する。	(情報科学類開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。交通費は参加者負担。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1B26521	日本の社会	1	1.0	1・2	春ABC	集中	3A203	星野 豊	日本の生活と社会に関するさまざまなニュースを参考に概説する。具体的には、各回テーマを設定し、日本の特徴をみていく。課外活動を入れながら、学生がひとりずつ日本の社会のテーマに合わせてプレゼンテーションする。できれば、各留學生が出身国の社会と事情を比較することにより、日本との一致点や相違点を明らかにする。これにより、日本の社会について理解を深める。	(社会開設)外国人留學生及び帰国生徒に限る。学外活動引率とプレゼンテーションのために学生の人数を限定する。 【受入上限数20名】

総合科目II 科目群C 100番台

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
1C08021	障害と共に生きるII	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A202	森地 徹, 小林 秀之, 宮本 昌子, 佐島 毅, 安藤 隆男, 原島 恒夫, 熊谷 恵子, 左藤 敦子, 大村 美保	障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を主に発達・行動・生活支援の観点から紹介する。人間の生活行為は、認知機能や言語機能、運動機能などの諸機能がさまざまな関連しあって実現している。障害のある人の支援方法を学ぶことで、障害のある人もないも共に「自立」と「自己実現」の可能な社会とはどのような社会なのかについて、受講生が自ら考える機会を提供したい。	(障害科学開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数200名】
1C11511	日本の自然	1	1.0	1・2	春AB	水5	1C505	角替 敏昭	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるか学習する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球開設) 外国人留學生及び帰国生徒に限る。平成27年度以前の7200131の単位取得者は、授業内容が異なるため履修を可とする。 【受入上限数40名】
1C17101	都市・地域・環境を探るI	1	1.0	1	春AB	月2	3A416	藤井 さやか, 大澤 義明	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。Iでは、筑波研究学園都市を出発点として、都市の成立や仕組み、構成要素とその適正配置などの観点を通じて、身近な環境から都市・地域・環境の問題を考える。	(社工開設) 【受入上限数120名】
1C21201	スポーツ医学とは? フロントランナーに聞いてみよう!!	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1H101	竹越 一博	スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている教員より、その最新の医学事情を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解する。	(医学開設) 【受入上限数120名】
1C22031	プレコンセプション・ケア	1	1.0	1・2	春AB	月2	1D201	岡山 久代, 涌水 理恵, 川野 亜津子, 福澤 利江子, Togoobaatar Ganchimeg, 金澤 悠喜	国内外の性に関する健康問題、妊娠・出産・育児事情、親子・家族関係、子どもをとりまく問題、生殖に関する倫理的問題について学び、将来親になるとしたら、今必要なことは何か?について考察する。	(看護開設) 看護学類生の受講は認めない。 【受入上限数150名】
1C24201	ヒューマンハイパフォーマンスを引き出す最新スポーツ科学(1)	1	1.0	1・2	春AB	月1	5C416	武政 徹	スポーツ科学の進歩はオリンピックを目指すアスリートのみならず、日常的生活を営む我々においても有益である。特に近年、続々と明らかにされるスポーツ科学の知見は、現代社会が直面する青少年の体力や意欲の低下、アスリートやビジネスマンのオーバーワークによる生産性と意欲の低下、高齢者の健康や生きがいの低下など、「人と社会の活力低下問題」解決につながる可能性を秘める。本講義では、認知機能を高める運動プログラムや意欲を高める運動用具など、心身の活力を最大限に引き出す(ヒューマンハイパフォーマンス)最先端の生命・認知脳科学を導入した次世代健康スポーツ科学について紹介する。	(体育開設) 【受入上限数120名】
1C26110	キャリアデザイン-働く自分-	0	1.0	1・2	春BC秋A 夏季休業中	集中	1C306	五十嵐 浩也, 末富 真弓	地元企業における1週間程度の就業体験(インターンシップ)と事前・事後教育を通じて、働くこと及び社会で求められる基礎的な態度や能力についてリアルに体感するとともに、自身の学群以降のキャリア形成について考えを深めることを目的とする。同時に大学時代という時間の有限性を再認識し、学修と学生生活両面における能力開発目標や行動目標の設定、意欲の向上を支援する。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター企画) GDP 夏季休業中に5日間のインターンシップを行う。【受入上限数30名】